

令和元年 11 月 13 日 (水)



講演時間

16:30 - 17:30

質疑応答

17:30 - 17:50



講演者

森本 幾夫 先生

順天堂大学
大学院医学研究科

免疫病・がん先端治療学教授
東京大学名誉教授

(医学系博士課程)

医学特論の
単位認定の一部
となります。

必要な方は
「受講確認票」を
ご持参下さい。

受付で押印します。

臨床研究に関する
各講座等から少なくとも1名の
ご出席をお願い申し上げます。

全職員参加可能

会場前の講演会受付で記名してからご入場下さい。

【主な対象】

医師・薬剤師・看護師など
臨床研究に関わる者、及び学生

※事務職員など職種は問いません。

2019年度 富山大学附属病院臨床研究管理センター主催 臨床研究推進講演会 3

悪性胸膜中皮腫 への ヒト化CD26抗体 (YS110)療法の開発

～フランスおよび本邦での第1/2相臨床試験から～

開会のあいさつ

附属病院
林 篤志 病院長

司会

附属病院 臨床研究管理センター
中條 大輔 特命教授

閉会のあいさつ

附属病院 臨床研究管理センター
戸邊 一之 センター長

ご講演内容

悪性胸膜中皮腫 (MPM) は一般的にはアスベストばく露により発生し、
平均生存期間は約 1 年とわめて予後が悪い悪性腫瘍で社会問題にもなっている。

有効な標準治療法は存在しないことから、新規かつ有効な治療法開発は急務とされている。

そこで悪性中皮腫での新規治療法開発を目指し生物学的活性の強い良質なヒト化CD26抗体を開発した。

First in Human第1相臨床試験をフランスにて行い、
特に治療抵抗性悪性中皮腫に対して有効性を示すデータも得ることができ、
さらに日本でも2017年に悪性中皮腫をターゲットとして第1相臨床試験を開始し、
引き続き第2相臨床試験を開始して本年4月にすべての患者に初回投与が終了している。

**本講演ではCD26分子の機能と構造および何故にヒト化CD26抗体を悪性
中皮腫治療に用いることになったのか、ヒト化CD26抗体の抗腫瘍機序および
臨床試験の成績について述べる予定である。**



@ 富山大学附属病院 2F
臨床講義室 (1)

杉谷キャンパス外から
お越しの方へ



駐車場ご利用の場合は、会場前の
講演会受付にて特別駐車券を配布
いたします(先着順)ので、どうぞ
お気軽にお申し付け下さい。
(ご所属・お名前をお伝えください)

※「外来患者駐車場[有料]」を
ご利用されると、
有料<100円>となります。

※教職員・学生は、
「教職員・学生専用駐車場」を
ご利用願います。

お問合せ先



富山大学
病院経営企画課
(臨床研究担当)



076-434-7034



rinken@adm.u-toyama.ac.jp